

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園武蔵中原	種別：認可保育所	
代表者氏名：齋藤 亜希子	定員（利用人数）： 60名	
所在地：神奈川県川崎市中原区上小田中6-18-4		
TEL：044-789-5995	ホームページ：https://www.like-kd.co.jp/academy	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社		
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 7名	
専門職員	（専門職の名称）保育士15名 調理師 2名	
	看護師 1名	
	栄養士 2名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6室	事務所、調理室、休憩・更衣室、備品庫、洗濯室、乳児用沐浴室、シャワー室2か所、乳児用トイレ1か所、園児用トイレ1か所、職員用トイレ3か所、調理室専用トイレ1か所、園庭用トイレ1か所

③ 理念・基本方針

- 1) こども理念：のびやかに育てだいちの芽
- 2) 保育方針：みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛
- 3) 陽だまりのような保育園
- 4) 地域と共に育つ保育園
- 5) 子どもと共に輝いていける保育園

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園舎は南武線の高架下にあります、2階建ての建物になります。1階は乳児・2階は幼児の保育室として使用しています。天気の良い日は日差しがたっぷり入り、保育室には木のぬくもりが感じられ、温かく、安心して過ごせる空間となっており、まるで陽だまりの中にいるようです。

廊下は高架下にあるので、真っすぐに長く、階段も緩やかになっており開放感を感じさせてくれます。園庭は、雨天でも砂場での遊びや、ともだちと走ったりボールで遊んだりすることができます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 5月 16日（契約日） ～ 2023年 1月 19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2020年度）

⑥ 総評

◇特長

1) 夏祭りや運動会などの行事に子ども達は主体的に参加しています

7月の「にしいろ祭り」では5歳児は自分たちで製作した神輿を担ぎ、4歳児は山車を引き、3歳児は鳴り物で練り歩きます。法被を着て、ねじりはち巻きで、「わっしょい、わっしょい」の掛け声をかけながら、高架下の沿道で、保護者や近隣住民にお披露目をします。園庭では乳児が応援の手作りうちわを振りながら、幼児の勇姿を観覧します。

10月の運動会に向けて、幼児は自分の手形と自画像を描いた旗を作り園庭に飾り、乳児は幼児への応援旗を作り、廊下に飾っています。運動会当日は、5歳児はよさこい、4歳児はパラバルーン、3歳児はダンスなどを園庭で順番に実施します。行事の準備から実施迄子ども達が主体的に参加し、終了後は達成感が得られるような行事を実施しています。

2) 保護者のスマートフォンのアプリなどで園と連絡を密にとっています

毎朝保護者のスマートフォンの連絡帳機能アプリで家庭の様子や体調、朝の体温などを送信してもらい、各クラスに2台設置されたタブレットで保育士は内容を確認しています。連絡帳機能以外にも、欠席、遅刻の連絡や迎えの時間、延長などの連絡にも使用しています。他のクラスの保育士も同時に内容を把握でき、情報共有が出来ます。また、園からの一斉配信もできます。園からは毎月「にしいろだより」「保健だより」「給食だより」「クラスだより」などを配布し、園の活動内容を知らせています。

栄養士手づくりの「毎月の旬の食材掲示板」では、ゴーヤや筍、イワシなど旬の食材の絵と説明を書いて掲示しており、保護者に好評で毎月見てもらっています。

園内の壁には、毎月の行事の写真が貼っており、多様な方法で園の情報提供を行い、保護者と連携を密にしています。

3) ブログや園内の掲示など、様々な手法によって積極的な情報発信をしています

本社のホームページの園ブログにて、日々の保育や行事の様子などを積極的に発信しています。コロナ禍によって園見学の際に園舎へ入ることが出来なくなったため、見学希望者が園の様子を理解しやすいように、見学希望者向けの記事も作成し、受入れ定員や登降園の管理、食事についてなど見学者からよく寄せられる質問について、3000文字以上にわたる文章と、園内の設備や保育の様子などの多数の写真によって説明をしています。ブログの記事はこれまでに600以上となっています。

園内の壁には毎月の行事の写真や、保護者への連絡事項など様々なものを掲示しています。掲示する内容は子どもに関するものだけではなく、職員の情報についても、永年勤続で表彰された職員について掲示するなど、職員のモチベーションにつながる取組も情報発信を通じて行われています。

また、園の外にある掲示板には地域に向けて、地域清掃活動の様子や手作り玩具紹介、絵本紹介、給食紹介、育児相談案内などを発信しており、積極的な情報公開が行われています。

◇今後期待される点

1) 就学に向けて、出来る範囲で小学校との連携を図ることが期待されます

コロナ禍で小学校に見学に行ったり、小学生と交流することは難しい状況ですが、散歩の際に小学校を見に行ったり、卒業生からの話を聞いたりしています。今年度は、小学校の敷地内まで入ることが出来る予定です。今後は出来る範囲で、小学校との交流の機会を持ち、小学校への移行に繋がる取り組みを期待します。

2) 中長期計画や事業計画等について、保護者の理解をさらに深める工夫が期待されます

園で策定された中長期計画や事業計画等は、運営委員会で内容の詳細を説明し、玄関にファイリングしていつでも閲覧することが出来るようにしています。また、運営委員会の議事録も園内に掲示し、保護者へ伝えるための取組が行われています。その一方で、事業計画や議事録は文章量も多く、登降園時には確認する時間が限られており、それらを閲覧している保護者も少ない状況です。中長期計画や事業計画等について保護者の理解が深まることによって、園の運営についてさらに理解を深めるきっかけとなります。情報発信の方法を工夫することで、事業計画等について保護者の理解をさらに深める取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ禍で重点的な感染防止対策や新しい生活様式の変化の中で、保育内容や保護者支援等、どこまでできるのかを常に職員達と検討し、限られた状況の中でもより丁寧に行っていくことを基本に多くの変化を体験してきました。閉鎖的になりがちだった園活動を保護者へ伝えたい思いで、ブログ発信や園舎の壁を利用しての写真展を展開してきました。また職員の活動や表にでない工夫を伝えることで、保育士へのよい評価や応援の声をいただくことができました。保護者の園に期待する気持ちをプレッシャーと思わず、エールだと考え、できることは速やかに実践し、経過を伝えたりフィードバックしてきたことで、園運営を深くご理解いただきながら今に至ります。

今回の第三者評価受審までの準備期間で、この3年の園を職員一人ひとりで振り返り見直しすることができました。また、第三者評価結果でよい評価していただいた事項は、園児保護者にさらに喜んでいただけるように今後の発展・継続させていきながら、改善や工夫が必要な事項については、速やかに検討・修正や改善・実施し、より豊かな保育を提供していけるように今後の園運営に活かしていこうと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり